

# 第1次中期経営計画（2019年度～2020年度）

レイズネクスト株式会社

2019/11/15

# 1. 経営方針

## 【企業理念】

**産業インフラを支える。豊かな未来を拓く。**

- ・安全で安定的なプラントの操業を支え、人、暮らし、環境の未来に貢献します。
- ・メンテナンスとエンジニアリングによって、プラントおよび設備の最適化を実現します。
- ・多様性・自主性を尊重し、従業員・パートナー企業の幸せを追求します。

# 1. 経営方針

## 【ビジョン】

### メンテナンスとエンジニアリングの新時代へ

- ・技術力と現場力を融合し、プラントライフサイクルの様々なステージで総合力を発揮します。
- ・お客様の潜在的な課題を見出し、高品質なサービスとオーダーメイドのソリューションを提供します。
- ・社内外のコミュニケーションをより一層充実させ、メンテナンスとエンジニアリングの新たな価値を創造します。

# 1. 経営方針

## 【行動指針】

### 進取果敢

既存の枠組みに捉われず  
新しい発想で積極的に  
挑戦します。

### 誠心誠意

お客様によりそい  
一つひとつの仕事に  
心を込めて取り組みます。

### 共存共栄

関係する全ての人を尊重し  
ステークホルダーとともに  
発展します。

## 2. 計画期間

---

### 2019年度から2024年度の6年間について

**第1次中期経営計画：2019年度から2020年度**

**第2次中期経営計画：2021年度から2024年度**

### 3. テーマ

## 【RAIZNEXT SYNERGY POWER】

第1次中期経営計画：シナジー効果創出のための融合

第2次中期経営計画：シナジー効果創出

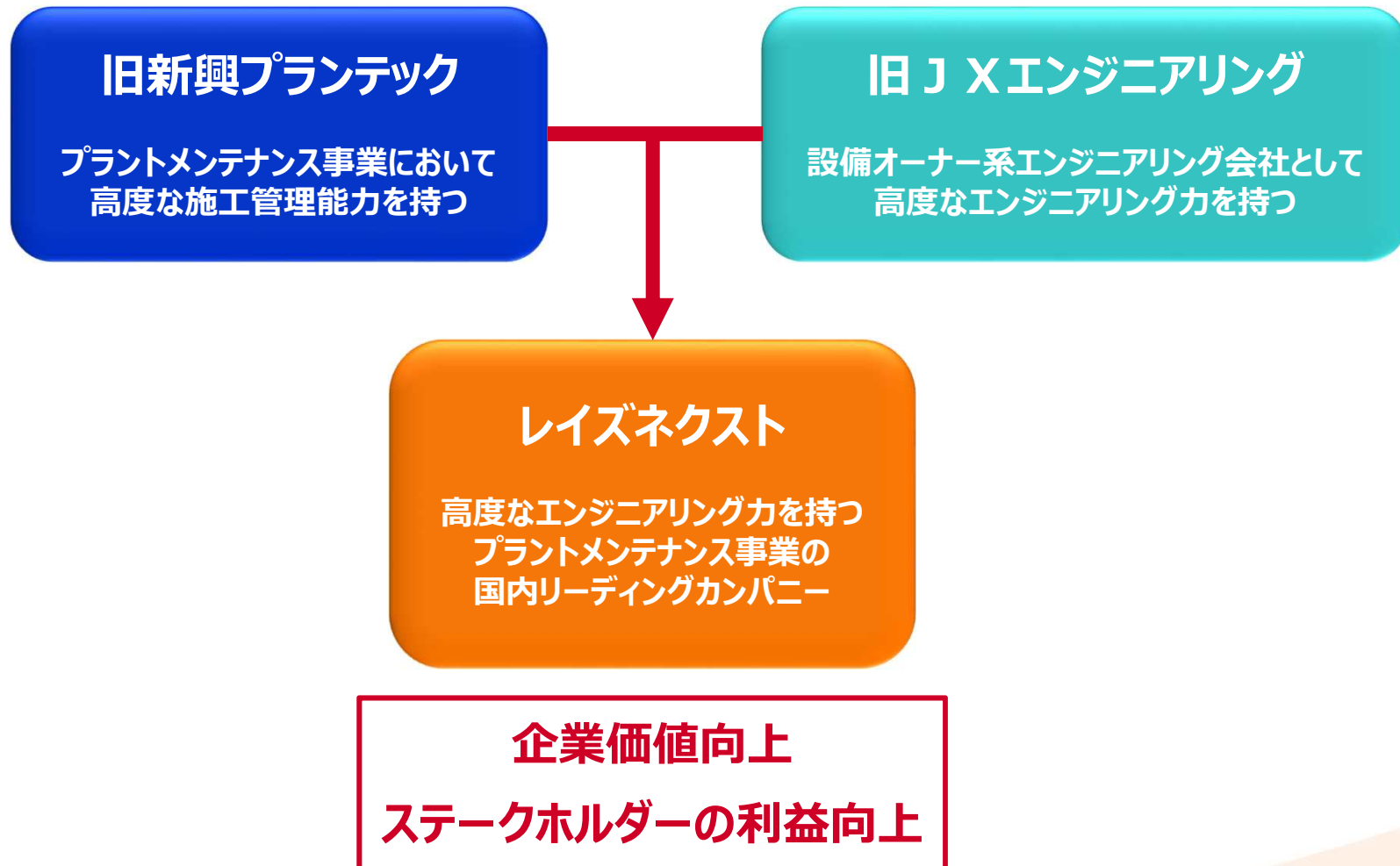
## 4. 事業環境

|        |                                                   |                                            |
|--------|---------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| ① 経済環境 | 世界経済                                              | 米中貿易摩擦、英国のEU離脱問題等により、減速基調                  |
|        | 国内経済                                              | 2020年の東京オリンピックまでは内需主導により底堅く推移              |
|        |                                                   | 世界経済減速の影響や消費税増税等による下振れリスクも想定               |
| ② 顧客環境 | 石油                                                | 国内の石油需要は全体的には減少傾向（エネルギー構造の変化や少子化、省エネ化等の進展） |
|        |                                                   | 石油製品の供給面では、統合・再編が終了し、生産設備の最適化により需給バランスが改善  |
|        |                                                   | 石油精製と石油化学設備の一体運営など、生産・供給体制基盤強化の方向          |
|        | 石油化学                                              | 堅調な国内需要を背景にエチレンプラントは高稼働                    |
|        |                                                   | 石油化学や基礎化学品では、海外市況の下落を背景にマージンが悪化            |
|        |                                                   | 全体的には世界経済の先行きは不透明感が強く、弱含みで推移               |
| ③ 社会環境 | 非鉄金属                                              | 銅価格の下落、電子材料製品（スマートフォン）の需要調整等により減速傾向        |
|        | 国内の雇用環境も改善し、労働市場においては人手不足が深刻な状況                   |                                            |
|        | 建設業界への従事者の更なる減少が予想され、雇用促進、待遇改善などを更に進めていく必要あり      |                                            |
|        | 時間外労働時間削減、休暇取得推進、多様な働き方の選択などの「働き方改革」の実現が企業の社会的責任  |                                            |
|        | CSR活動の推進や、その一環として、ESG（環境、社会、ガバナンス）を意識した事業活動の推進が重要 |                                            |

## 4. 事業環境

|                             |                                                           |
|-----------------------------|-----------------------------------------------------------|
| ④<br>メン<br>テナ<br>ンス<br>業界   | 石油・石油化学業界では安定的な製品供給のために、既存プラントの安全・安定的な操業ニーズが高まると想定        |
|                             | 2020年度は定期修理工事がピーク。これを最優先課題として取り組む。                        |
|                             | 設備の経年劣化などによる事故や操業トラブルの懸念に対し、プラントメンテナンスの需要が増加すると想定         |
|                             | 顧客の保安力の向上・高度化に向けた動きの中で、定期修理工事を中心に、メンテナンスの重要性がますます高まると想定   |
|                             | 保全業務全般に係る計画の立案や管理・遂行までトータルでサポートを行う体制が求められる                |
|                             | 人手不足、高齢化の課題に対して、協力会社に対する支援、技術の伝承、安全性・品質を考慮した機械化、省力化が必要    |
| ⑤<br>エン<br>ジニア<br>リング<br>業界 | 石油・石油化学業界では、将来的な石油製品需要の減少を受け、大規模な設備投資は見込めない状況             |
|                             | 一般化学や汎用品の分野では、高機能製品を生産するための新規プラント建設工事などは堅調に推移するものと想定      |
|                             | エンジニアリング会社に対し、事業計画段階からの参画や支援が求められ、ソリューション型サービスのニーズがますます増加 |
|                             | 資材費や人件費の高騰などによる採算悪化が収益力の低下を招くケースが増加しており、プロジェクトのリスク管理が重要   |

## 5. 基本方針



## 5. 基本方針

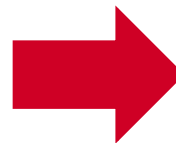
### 【基本方針】

(1) 経営基盤の強化

(2) メンテナンス事業の強化

(3) エンジニアリング事業の強化

(4) タンク事業の強化



### 【具体的目標】シナジー効果

統合後6年間累計  
完成工事高200億円以上  
経常利益で20億円以上

## 5. 基本方針

### (1) 経営基盤の強化



## 5. 基本方針

### (1) 経営基盤の強化

#### 【実施計画（施策）】

##### グループガバナンスの強化

- ① ガバナンス体制の強化
- ② グループ経営・ガバナンスの強化

##### 人材の確保と育成

- ① 採用の強化、多様化
- ② 人事制度の再構築
- ③ 人材育成の強化

##### 働き方改革による生産性の向上

- ① 時間外労働時間の削減
- ② 生産性の向上

##### 安全・品質の確保と体制の強化

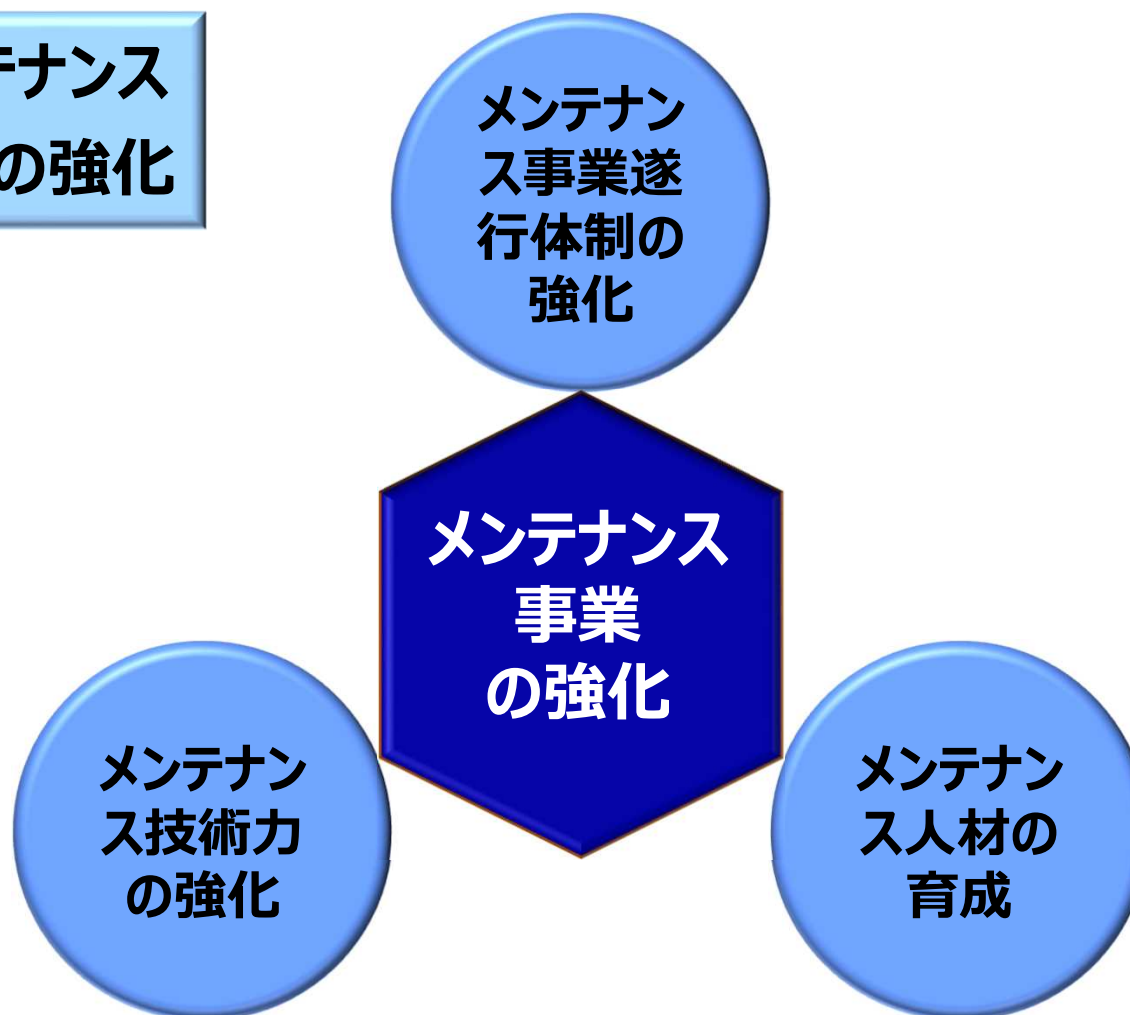
- ① 無事故・無災害の達成
- ② 品質トラブル・ゼロの達成
- ③ 社内推進体制の強化

##### 業務品質の改善・向上

- ① 小集団活動の全社展開
- ② 改善活動・表彰制度の再整備

## 5. 基本方針

### (2) メンテナンス 事業の強化



## 5. 基本方針

### (2) メンテナンス事業の強化

#### 【実施計画（施策）】

##### メンテナンス事業遂行体制の強化

- ① 全社生産計画の効果的運用
- ② 協力会社の全国的調整ネットワーク構築と施工体制整備
- ③ 協力会社への支援

##### メンテナンス技術力の強化

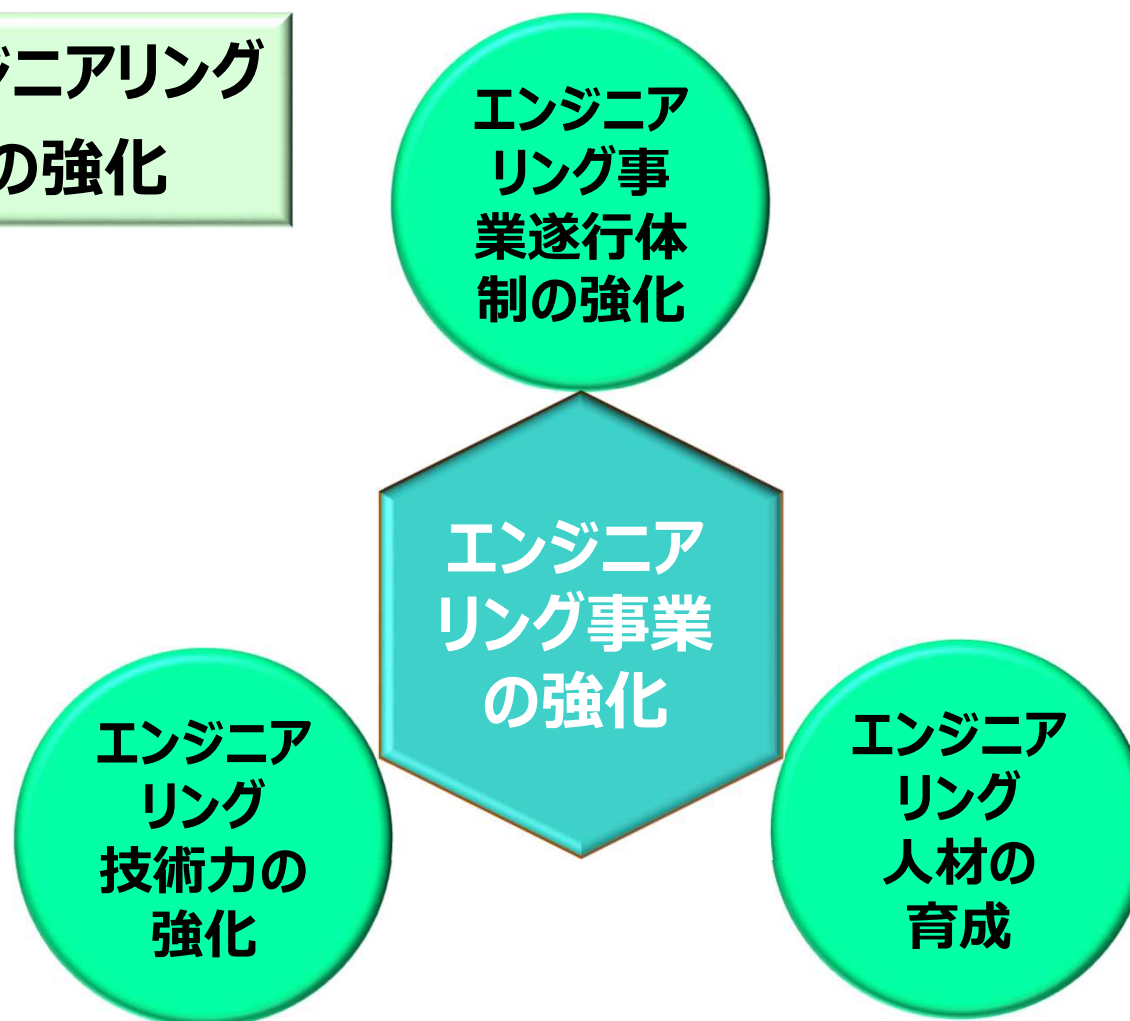
- ① 現場作業の機械化推進
- ② 現場におけるIT活用の強化

##### メンテナンス人材の育成

- ① 全社的視点における計画的人材育成
- ② 外注監督者の充足・増員
- ③ 海外子会社人材の育成

## 5. 基本方針

### (3) エンジニアリング 事業の強化



## 5. 基本方針

### (3) エンジニアリング事業の強化

#### 【実施計画（施策）】

##### エンジニアリング事業遂行体制の強化

- ① プロジェクト業務遂行体制の強化
- ② 金属および新規分野における体制基盤の強化
- ③ 国内協力会社ネットワークの拡充

##### エンジニアリング技術力の強化

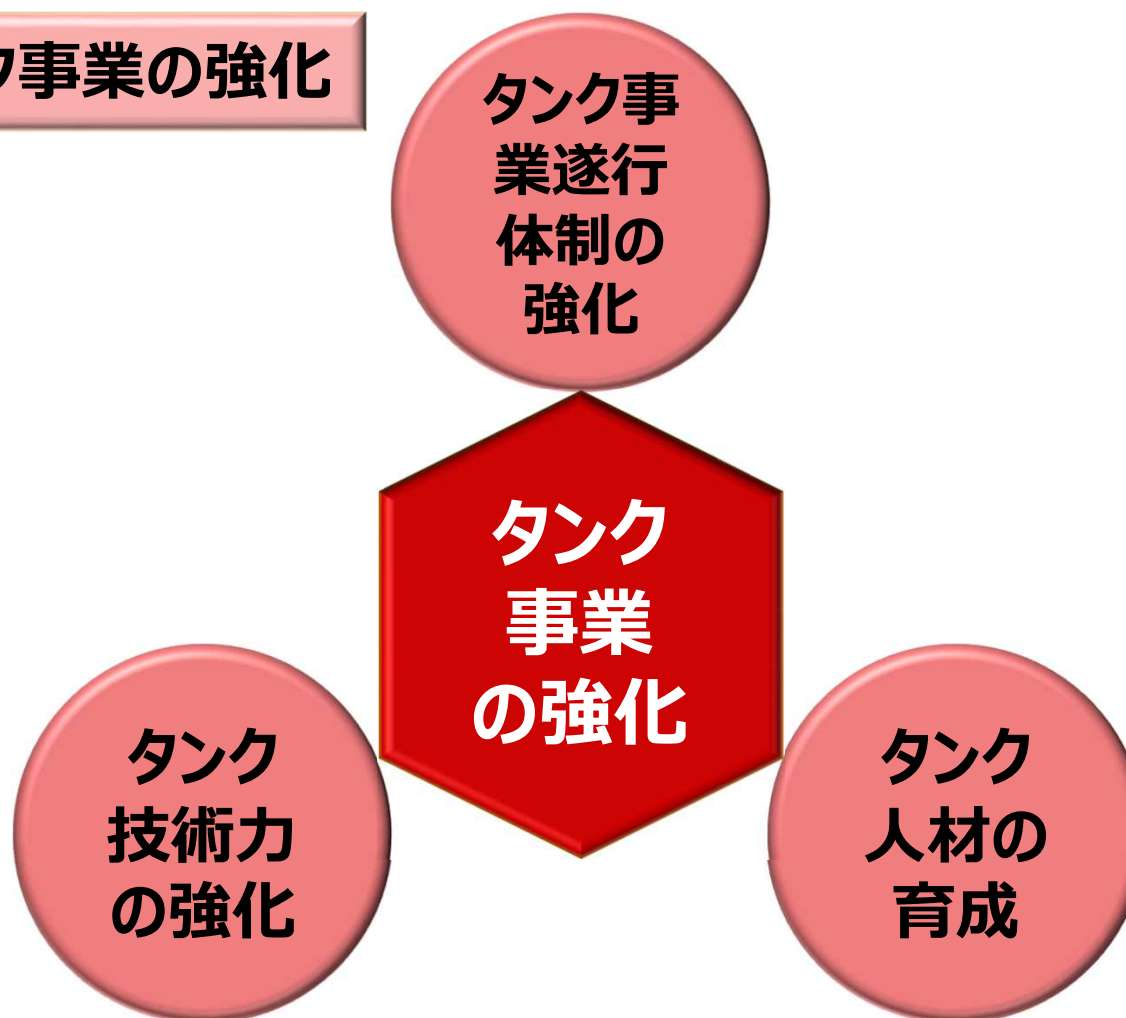
- ① エンジニアリング技術の能力向上
- ② 設計業務の効率化

##### エンジニアリング人材の育成

- ① 人材教育体制の再構築

## 5. 基本方針

### (4) タンク事業の強化



## 5. 基本方針

### (4) タンク事業の強化

#### 【実施計画（施策）】

##### タンク事業遂行体制の強化

- ① タンク事業遂行体制の整備・強化
- ② タンク協力会社の体制整備
- ③ 千葉工場の活用・推進

##### タンク技術力の強化

- ① タンク技術スタンダードの統合
- ② 溶接関連作業の機械化推進
- ③ 新技術のタンク事業への展開・推進

##### タンク人材の育成

- ① タンク対応人員（監督者・技術者）の育成・強化

## 6. シナジー効果

統合によるシナジーとして次の事項を目標とし、**2025年3月期までの累計で、売上高200億円以上、経常利益20億円以上**の実現を目指す。

|   | シナジー                                         | 目標                                     |
|---|----------------------------------------------|----------------------------------------|
| ① | メンテナンスとエンジニアリングの融合                           | 計画から施工まで一貫した対応を行う大型機器の改造・改修工事の受注拡大     |
| ② | EPC体制および専門機能の強化と事業部の施工機能との連携強化               | 大型EPC案件の受注拡大                           |
| ③ | 顧客ニーズを実現するため提案型アプローチ                         | 装置の計画段階から参入し、顧客のエンジニアリングパートナーとしての関係の構築 |
| ④ | 大型タンク、特殊タンク（低温、球形）建設等のエンジニアリング技術と高い施工管理技術の融合 | 石油・化学業界のみならず、その他の業界におけるタンク案件の受注拡大      |
| ⑤ | 保有する特殊メンテナンス機材や固有技術の適用の拡大と有効活用               | 工期短縮・コストダウン                            |
| ⑥ | 人材の適正配置と有効活用、ITや各種システムの導入・整備など               | 業務の生産性の向上                              |

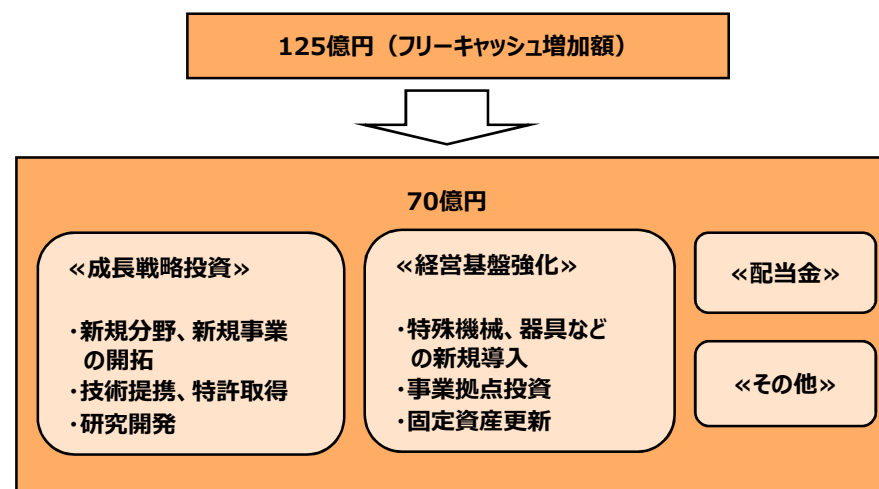
## 7. 経営数値目標

### 【業績計画】

＜連結＞ (単位：億円)

|                         | 2020年度目標<br>(2021年3月期) |
|-------------------------|------------------------|
| 受 注 高                   | 1,450                  |
| 完 成 工 事 高               | 1,450                  |
| 営 業 利 益                 | 94.0                   |
| (率)                     | 6.5%                   |
| 経 常 利 益                 | 96.0                   |
| (率)                     | 6.6%                   |
| 親会社株主に帰属する<br>当 期 純 利 益 | 63.0                   |
| (率)                     | 4.3%                   |

### 【投資・配当計画】



### 【経営指標の目標値】

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 自己資本当期純利益率（ROE） | 9%以上  |
| 配当性向（連結）        | 40%以上 |

**本資料中の経営方針、戦略、将来の見通しに関する数値につきましては、現時点で入手可能な情報から当社経営陣の判断に基づいて作成されております。**

**この中にはリスクや不確定な要因も含まれており、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、顧客動向等により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。**



レイズネクスト株式会社